

所属・氏名（保健医療 学部 医療技術 学科 氏名：徳毛悠真）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概要
1 (国内学会発表)	骨格筋の低周波パルス波刺激がキネシンおよびNa/K ポンプの mRNA レベルに与える影響の検討	共同	2016年12月3～4日	第6回中四国臨床工学会(高知市文化プラザかるぽーと)	低周波パルス波刺激において、至適条件(400 ppm、1時間)でのみ、骨格筋組織内のキネシン軽鎖2で特異的に上昇しており、これにはNa/K ポンプ mRNA レベルの増加を伴っていた。よって、低周波パルス波刺激による細胞内から細胞膜への小胞輸送方法を確立することで心不全の治療などに貢献できる可能性が示唆された。 宮本怜於奈、速水啓介、丹野福士、徳毛悠真、清水希功
2 (学位論文)	ラット骨格筋のパルス波刺激によるグルコーストランスポーター4および関連遺伝子の転写レベルの検討	単著	2016年12月	広島国際大学大学院 医療・福祉科学研究科 医療工学専攻	低周波パルス波刺激にて至適条件でのみ、グルコーストランスポーター4(GLUT4)やキネシン、細胞質ダイニンの各サブユニットの転写レベルの上昇が見られた。これによりGLUT4が輸送されることで2型糖尿病の非薬物的治療法となりうることが示唆された。 徳毛悠真
3 (国内学会発表)	ラット骨格筋のパルス波電気刺激による4型グルコース輸送体およびモータータンパク質の遺伝子転写レベルの上昇	共同	2017年5月4日	第56回日本生体医工学会大会(東北大)	パルス波刺激にて至適条件でのみ、4型グルコース輸送体(GLUT4)やモータータンパク質の mRNA レベルの上昇が見られた。これにより GLUT4 が輸送されることで 2 型糖尿病の非薬物的治療法となりうることが示唆された。 徳毛悠真、速水啓介、宮本怜於奈、丹野福士
4 (表彰者紹介)	平成29年度研究奨励賞・阿部賞受賞者紹介	単著	2018年12月	生体医工学会雑誌 第56巻3号	平成29年度日本生体医工学会大会にて報告した研究内容が若手研究者を対象とした研究奨励賞・阿部賞を受賞した。その受賞者紹介として1ページ執筆した。 徳毛悠真
5 (国内学会発表)	人工呼吸器下での一回換気量がラットの循環動態に与える影響の検討	共同	2019年9月28日、29日	第9回中四国臨床工学会(島根県民会館)	人工呼吸下のラットにおいて、一回換気量を8 mL/kgと12 mL/kgの2パターンで短時間での循環動態の変動を記録・比較したところ、有意性が確認されなかった。ただし、長時間では確認できていないため、今後も継続する予定である。 中村瑞貴、徳毛悠真
6 (国内学会発表)	入学準備学習の改編と学力試験の実施ならびにリメディアル教育の推進に関する取り組み	共同	2023年9月23日	第9回臨床工学技士養成教員学術研究会(TKP ガーデンシティ博多新幹線口)	入学前教育を従来から実施しているが、課題の未提出者がいること、一般入試のような年明けに合否が決まる合格者へのサポートが困難なこと、といった2点が問題点だった。そこで、これらの該当者へのサポート体制を整え新入生の意欲向上を試みた。 丹野福士、上月具挙、徳毛悠真、武藏健裕

令和7年4月9日現在